

# 学校・家庭・地域ではぐくむ 中央っ子の学力

～平成29年度 全国学力・学習状況調査から見えてきたこと～

一人ひとりの子どもの「確かな学力」をはぐくむために、学校・保護者・（家庭）・地域が調査結果から明らかになった課題を共有し、それぞれの立場でできることに取り組むために、本資料を作成しました。

## 全国学力・学習状況調査とは・・・

### 1. 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 実施日・調査対象

平成29年4月18日（火）、全国の小学校6年生、中学校3年生を対象に実施。

### 3. 調査の内容

#### ①教科に関する調査（国語、算数・数学）

| 主として「知識」に関する問題（A）                                                              | 主として「活用」に関する問題（B）                                           |
|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容<br>・実生活において不可欠であり、常に活用できようになっていることが望ましい知識・技能など | ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力<br>・様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力など |

#### ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

| 児童生徒に対する調査                   | 学校に対する調査                           |
|------------------------------|------------------------------------|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 |

### 4. 結果の概要

国語 A・B については、いずれも全国の平均正答率を「少し上回る結果」でした。文章の読解力においては、文の構成を意識して読む力がついています。漢字の読みは「概ね良好」ですが、条件作文（指定された言葉、数を使って書くこと）など「書く」領域に課題がみられました。

算数 A・B については、全国の平均正答率と「ほぼ同程度」でした。四則計算（＋、－、×、÷）は「概ね良好」ですが、数量や図形についての知識理解や割合を使った活用問題に課題が見られました。また、グラフや文章が複合した問題では、問題把握をすることに課題が見られました。必要なデータを読み取り、論理的に説明することに課題があります。

## 5. 全国学力・学習状況調査から見てきたこと

### 1 中央っ子の「国語」の力

#### 身につけている力

- ◎漢字を読む、書く力。
- ◎ことわざの意味理解。
- ◎説明文の文章構成を理解して読む力。



#### 成果につながったと考えられる取組

- ◎スキルタイムや家庭学習での反復練習。
- ◎字数やキーワードなど条件に合わせて書く活動。
- ◎授業内でのグループ学習で順序づけて話し合う活動。



#### さらに身につけたい力

- ★課題文から自分の考えを書く力。
- ★キーワードなどの条件をふまえて作文する力。
- ★文章中のキーワードに着目したり、大事な部分を見つけたりする力。
- ★題意を正確に読み取る力。



#### 今後力を入れる取組

- ★学校生活の様々な場面で自分の考えを書く活動を取り入れ、自分の考えを書く力を伸ばします。また、読み手に伝わるような文章の書き方を工夫します。
- ★授業の中で、文章の要旨をとらえられるように、キーワードを考えさせる場面づくりをします。
- ★新聞作りや資料作りの中で、文章と図やグラフなどに関連付けて自分の考えをまとめる活動を大切にしていきます。
- ★目的や意図に応じ、複数の内容を整理して書く活動を引き続き多く取り入れます。(字数制限、図やグラフの読み取りなど)

### 2 中央っ子の「算数」の力

#### 身につけている力

- ◎基礎計算力(四則計算)。
- ◎目的に適したグラフを選ぶなど、問題に応じて選択する力。



#### 成果につながったと考えられる取組

- ◎スキルタイム、家庭学習による反復練習。
- ◎自分の考えが見えるノートづくり。
- ◎図を活用した求め方がわかるノートづくり。
- ◎友だちと「なぜ、そうなるのか」を学び合う授業づくり。



#### さらに身につけたい力

- ★加法と乗法が混合した計算問題を解く力。
- ★図形の合成分解をイメージする力
- ★示された条件をもとに適切に立式する力、条件をもとに文章で記述する力。
- ★グラフや図から必要なデータを読み取り、それを根拠に、事柄の理由を記述できる力。
- ★複数の条件の中で、数を変更したり、条件を加えたりした場合にも同じ関係が成り立つことを図にまとめる力。



#### 今後力を入れる取組

- ★授業や家庭学習で繰り返し計算問題練習を取り入れます。
- ★問題から式を作って解くだけでなく、式、図、文章などを関連して考えさせる場を授業の中に取り入れます。
- ★他教科とも関連して、グラフの読み取る経験を増やしていきます。(必要な情報を正しく読み取りまとめる活動)
- ★条件作文(指定の言葉、文字数、図やグラフをもとに考えさせる)を取り入れます。

### 3 中央っ子の学習と生活の姿

児童質問紙から見える  
よいところと課題



「教科に関する調査」結果と「生活習慣や学習環境等に関する調査」結果より、**生活習慣・学習環境と学力は関連があることがわかってきています。**

#### 【中央っ子のよいところ】

**早起き、朝ごはんの生活習慣が身についています。**

- ◎朝食を毎日食べている。(91%)
- ◎毎日、同じくらいの時刻に起きている。(93%)

**自分や友だちのことを大切にしたいと思っています。**

- ◎学校で友だちに会うのは楽しい。(100%)
- ◎友だちとの約束を守っている(100%)
- ◎人の役に立つ人間になりたい。(96%)

**学習習慣が身についています。**

- ◎家で宿題をしている。(98%)
- ◎学校で好きな授業がある。(91%)



( ) の数字は、肯定的に回答した児童の割合

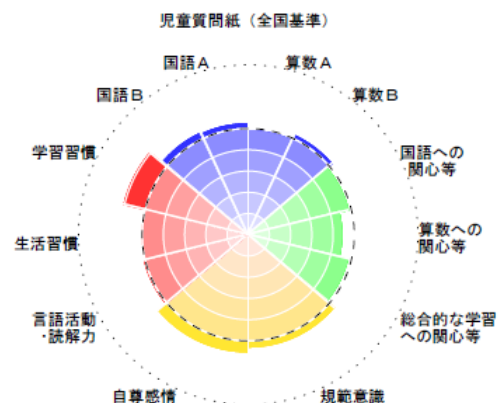
#### 【中央っ子の学習面におけるよいところと課題】

##### よいところ

- ★友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意である。(本校 62%、全国 53%)
- ★家で、自分で計画を立てて勉強している。(本校 73%、全国 60%)
- ★家で学校の授業の予習をしている。(本校 51%、全国 41%)
- ★家で学校の授業の復習をしている。(本校 84%、全国 53%)

##### 課題

- ★算数の勉強は好きですか。(本校 51%、全国 66%)
- ★算数に授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか。(本校 68%、全国 75%)

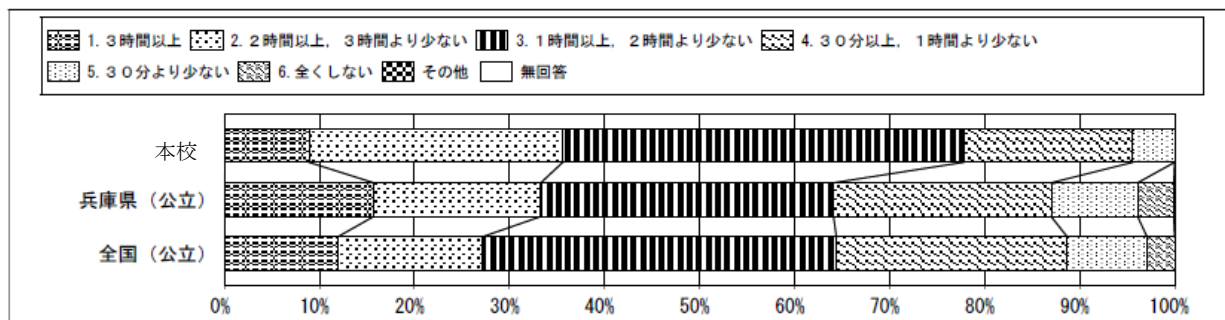


以上の結果からわかるように、自分で学習の計画を立てたり、新しい問題に意欲的に取り組んだり、筋道を立てて物事を説明したり、表現したりすることに対して意欲的に取り組むことができます。しかし、算数に対する関心意欲が低いことが課題として挙げられます。

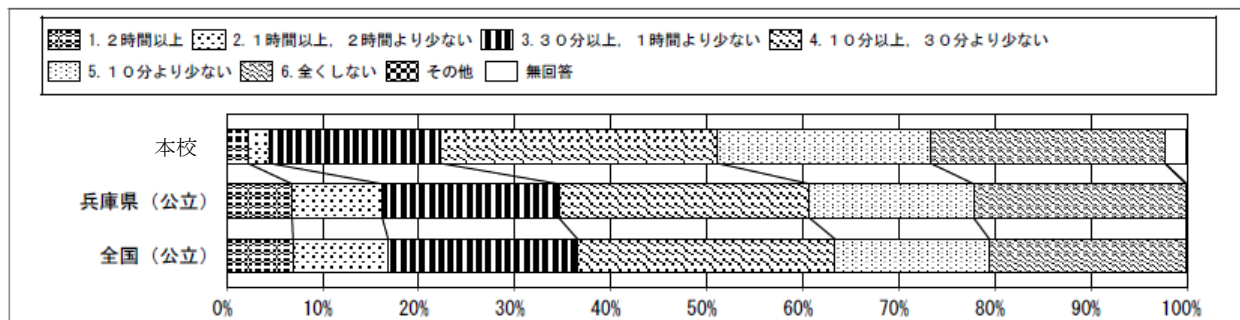
**学習に対する意欲の高さが自分たちの力になっています。今後、自分の考えを表現し、友だち同士で意見を交流する学び合いをすることで、さらに学習への意欲を高め、力をつけることにつながると考えます。**

## 【中央っ子の家庭学習の様子】

★学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



★学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。



勉強時間については、約8割の児童が1時間以上であることがわかります。読書については、10分以下の児童が約5割、そのうち全くしない児童が3割程度いることがわかります。

## 6. 中央っ子の学力を育てるために・・・

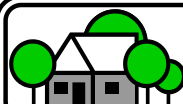


### 学校でできること

#### 学校の取組



- ・「やってみたい」「考えてみたい」と意欲的に取り組める課題を工夫します。
- ・自分の考えを持ち、その考えをもとに、友達同士で学び合う場（ペア学習やグループ学習）を設定し、実感を伴った理解や相手に説明する力を伸ばします。
- ・友達同士、いろいろな考え方があることを認めたり、自分のよさや友達のよさに気付いたりできる人権が尊重される学習の場づくりをします。
- ・子ども達の実態に応じて作成した学習のルールを全校で統一し、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりに取り組みます。



### 家庭でできること



#### 家庭で学力を育てる7つのヒント

- ① よいところをほめましょう。
- ② きまりや規則を守らせましょう。
- ③ 家庭で学校の様子を聞きましょう。
- ④ 学校行事にできるだけ参加しましょう。
- ⑤ 家庭学習の習慣が身につくように声かけをしましょう。
- ⑥ 子どもと一緒に本や新聞を読んだり、ニュースを見たりしましょう。
- ⑦ テレビ・ゲームをする時間を決めましょう。

自律し、しっかりとした判断力・思考力を持つ子どもに育てるために、学校・家庭・地域が協力していきましょう。